

平成26年度  
市民企画事業補助金  
成果報告書



八王子市

平成27年7月

# 目次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	交付事業一覧表	3
4	事業成果報告	
(1)	古文書学習普及のためのホームページ立ち上げ	5
(2)	子どもの発達などに関わる悩みや不安の相談	7
(3)	妊婦さん・未就園親子のための「シュタイナー・おひさまひろば」	9
(4)	八王子ポケットパークプロジェクト	11
(5)	MOA美術館八王子児童作品展	13
(6)	能を楽しむ会	15
(7)	「ようこそ中町へ」集客・誘客イベント	17
(8)	子ども表現ワークショップ事業	19
(9)	MUSIC BASKET～障害者・未就学児可の気楽なコンサート～	21
(10)	生産・加工の容易な地元農産物の普及	23
(11)	負けない家計になる！ファイナンシャルプランナーによるセミナー&相談会	25
(12)	視覚障害者支援活動と点字の習得	27
(13)	リユース食器レンタル事業	29
(14)	八王子市の子供達と外国人との交流を通して子供達の健全な育成を支援する	31
(15)	たき坊楽市広報活動	33
(16)	「聞き書き集－八王子に生きる女たち」(仮題)の刊行	35
(17)	第三回シニアが元気になるフェスティバル	37
(18)	屋内譲渡会での猫譲渡と相談会(新しい試み 保護猫カフェ)	39
(19)	八王子を互いに知ろうプロジェクト1 ～八王子市東部地域～	41
(20)	地域多世代交流広場お茶の間「民」事業	43
(21)	親子で楽しむ陶芸教室	45
(22)	高尾山情報サイト「高尾山マガジン」	47
5	成果報告会アンケート結果	49
6	交付団体連絡先一覧	55

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価について、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

# 1 市民企画事業補助金の概要

## (1) 市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、市がその経費の一部を補助するものです。この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

## (2) 補助の内容

補助対象事業は、以下の2部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはA活動支援部門、B事業実施部門、合わせて1団体1事業です。

	A 活動支援部門	B 事業実施部門
内 容	この部門では、既に公益的な活動に取り組んでいるが活動基盤が整っていない団体やこれから公益的な活動に取り組もうとする団体が、自らの活動を広く紹介する事業に要する経費を補助します。ただし、計画段階での事業費が5万円以上のものとします。	この部門では、市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する公益的な事業や将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。
補助金額	必要な経費の10分の10 (千円未満切り捨て、上限10万円)	① 必要な経費の2分の1以内 (千円未満切り捨て、上限100万円) ② 2回目以降は対象事業費の1/3以内又は前回交付決定額の80%のいずれか低い額。ただし、事業の性質上、市長が特に認めた場合は、①とします。
補助回数	同一団体2回まで	同一の事業に対して3回まで

## (3) 補助事業の採択

補助対象事業の審査は、事務局（協働推進課）による応募書類の確認、市の担当課が面接により応募事業の内容確認・評価を行う予備評価、市民企画事業補助金申請事業評価会議による評価を基に行います。

また、応募団体自ら事業の説明を行う「公開プレゼンテーション（B 事業実施部門のみ）」や、公開プレゼンテーションでの市民からの意見、継続事業については前年度事業の進捗状況などを参考にします。

評価・審査項目は下表のとおりです。

区分	A 活動支援部門	B 事業実施部門
担当課による 確認・評価	1. 公益性 2. 期待度	1. 政策合致性 2. 計画性 3. 八王子らしさ
評価会議 による評価	1. 公益性 2. 期待度 3. 補助金交付の必要性	1. 計画性 2. 社会貢献度 3. ニーズの高さ 4. 創意工夫 5. 補助金交付の必要性

※ 本概要は26年度についてのものであり、今後変更される可能性があります。詳細は市のホームページをご覧ください。市民企画事業補助金のホームページアドレス：

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/33852/shiminkatudo/shiminkikaku/index.html>

## 2 事業成果報告等の経過

### (1) 公開プレゼンテーション

- 日 時 平成26年3月22日(土) 13:00~16:30
- 場 所 北野市民センター 8階ホール
- 参加団体 11団体
- 審査の一環として、事業実施部門に応募した全ての団体が、評価会議委員と一般市民の方々の前で、プレゼンテーションを行いました。



### (2) 成果報告会

- 日 時 平成27年6月13日(土) 13:30~17:30
- 場 所 北野市民センター 8階ホール
- 報告団体 22団体
- 平成26年度に補助金を受け実施した事業について、評価会議委員と一般市民の方々の前で、成果報告を行いました。



### 3 交付事業一覧表

(単位 円)

区分	回数	事業名	補助対象事業費	補助金交付額
活動支援部門	新	古文書学習普及のためのホームページ立ち上げ	101,421	100,000
	新	子どもの発達などに関わる悩みや不安の相談	138,281	100,000
	新	妊婦さん・未就園親子のための「シュタイナー・おひさまひろば」	172,752	100,000
	新	八王子ポケットパークプロジェクト	100,000	100,000
	新	MOA美術館八王子児童作品展	147,635	45,000
	新	能を楽しむ会	208,694	100,000
	新	「ようこそ中町へ」集客・誘客イベント	65,000	65,000
	新	子ども表現ワークショップ事業	108,177	100,000
	②	MUSIC BASKET ～障害者・未就学児可の気楽なコンサート～	336,243	100,000
	②	生産・加工の容易な地元農産物の普及	158,588	100,000
	②	負けない家計になる！ ファイナンシャルプランナーによるセミナー&相談会	117,695	100,000
	②	視覚障害者支援活動と点字の習得	93,569	73,000
	②	リユース食器レンタル事業	130,183	100,000
	②	八王子市の子供達と外国人との交流を通して子供達の健全な育成を支援する	137,508	100,000
②	たき坊楽市広報活動	177,213	100,000	
		<b>小計</b>	<b>2,192,959</b>	<b>1,383,000</b>
事業実施部門	新	『聞き書き集—八王子に生きる女たち』（仮題）の刊行	1,217,192	606,000
	新	第三回シニアが元気になるフェスティバル	181,518	87,000
	新	屋内譲渡会での猫譲渡と相談会（新しい試み 保護猫カフェ）	734,200	344,000
	新	八王子を互いに知ろうプロジェクト1 ～八王子市東部地域～	313,797	152,000
	新	地域多世代交流広場お茶の間「民」事業	1,061,040	500,000
	②	親子で楽しむ陶芸教室	133,000	44,000
	②	高尾山情報サイト「高尾山マガジン」	902,282	300,000
			<b>小計</b>	<b>4,543,029</b>
		<b>総計</b>	<b>6,735,988</b>	<b>3,416,000</b>

## 4 事業成果報告

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	古文書学習普及のためのホームページ立ち上げ		
団体名	学園都市大学古文書研究会		
事業費	101,421円	補助金額	100,000円

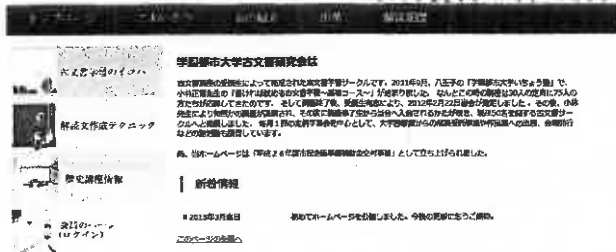
事業の目的・内容	目的 当会の活動を知ってもらうことにより、当会で培ってきた学習成果を発信することにより、生涯学習の興隆に貢献する
	内容 古文書学習の世界へ誘うホームページを開設する。 解読受託、検定問題、古文書の学習のノウハウなどの内容を備えたオンライン上の、学習プラザとしていく。

事業の活動実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ホームページ委員会の立ち上げ</li> <li>(2) コンテンツのイメージを掴むためブレインストーミングを実施 会員向けと一般の方向けの内容を検討</li> <li>(3) 再度、目的からコンテンツへの展開を検討 何のためのページなのかを明確にする</li> <li>(4) ホームページ作成ソフトのスタディー 経験者がいないため書籍による独学及びソフト特典の無料講習会の受講</li> <li>(5) ホームページのプロトタイプを作成 各ページのイメージを検討 初めから完璧なものを目指さない方針で作成</li> <li>(6) 全体のページのイメージを調整 様々なホームページを参照しながら独自性を目指す</li> <li>(7) プロバイダー選定 出来るだけ運用費用は安く 更新等の運用は会員にて実施の方針とする</li> <li>(8) ホームページ開設の準備と設定 この部分は経験が必要なので外部支援を受けた</li> <li>(9) ホームページの開設&lt;3月25日&gt; (<a href="http://tk2-230-24951.vs.sakura.ne.jp/">http://tk2-230-24951.vs.sakura.ne.jp/</a>)</li> </ol>
---------	--

学園都市大学古文書研究会

八王子を中心として  
古文書の解読を通して歴史を学ぶ  
一緒に古文書に触れてみましょう

古文書とは、文字で書かれた過去の記録のことです。その中には、私たちの祖先が何を信じていたのか、何を大切に思っていたのか、何を誇りに思っていたのか、を知る手がかりが隠れています。古文書を通じて、私たちの祖先の生活や考え方を学び、歴史を学ぶことができます。本会は、古文書の解読や複製、展示などを通じて、古文書に興味のある方々をサポートしています。ぜひ、一緒に古文書に触れてみましょう。



事業の成果・効果	<p>古文書学習普及の為のホームページを立ち上げるという目標は達成できました。今後、古文書を通して歴史を知る楽しさを知っていただくことが出来ると思います。</p> <p>ホームページの形は何とか出来たものの、夫々のページに組み込む情報を作成するための時間はかなりかかることを実感しました。特に、既存の紙の資料をホームページに載せるための作業時間は思った以上にかかることを認識しました。今後、徐々に楽しく学べるコンテンツを追加していきたいと思っています。</p> <p>機会があれば、経験が無くともホームページを立ち上げる事ができたことをお伝えし、夫々のサークル、グループでの活動を広く発信することをお勧めしたいと思います。その結果として、八王子市の各市民活動をホームページ化することができれば、市民はそれらの活動をより身近なものとして感じる事ができると思います。そして、各サークル間で相互にリンクを張ることにより、八王子市における様々な市民活動を横断的に知ることが可能になり、市民にさまざまな興味を持っていただくきっかけになるでしょう。当会の事業が、各グループのホームページ化を推進していただく礎にもなればと期待しています。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ) ただし、立ち上げたばかりなので参照の実態は、まだ把握できていない。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) ホームページ作成を極力外部依存せず会員にて作成したため、作成ソフト及び書籍の購入費用に充てました。活動のほとんどを会の通常の開催日にし、各自宅との連携作業としたため交通費は発生しませんでした。
	その他、評価すべき点等	今後の更新や運用を考慮して会員の独学にて作成できたことは、他のサークルでのホームページ作成の指針になると思われれます。今後のコンテンツの充実のための基盤はできました。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>(1) さらなる古文書関連情報の充実</p> <p>(2) 古文書の解説文を作成するための Word による文書化ノウハウの掲示</p> <p>(3) 八王子市内の古文書や歴史に関する講座の一覧を横断的に提示し、詳細情報の表示や講座情報へのリンクを張る</p> <p>(4) 古文書に興味を持っていただくため、くずし字の力試しページを順次掲示</p> <p>(5) 可能な範囲で他の古文書の会との情報交換の場を掲示</p>
---------	--



平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	子どもの発達などに関わる悩みや不安の相談		
団体名	なないろカフェ		
事業費	138,281円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>子どもが成長し2歳を過ぎると、発達や精神面のことで悩みがでてくる。発達や精神面の悩みは保護者にとっても、周囲にも受け入れにくいことが多く、保護者間の人間関係の中で解決していくことは非常に難しい場合が多い。幼児期から思春期まで子どもの発達や精神面の悩み、保護者のストレスなどを相談したり、話せるような場所が必要である。</p>
	<p>内容</p> <p>子育て中の保護者は子どもの発達段階で色々な悩みや不安を抱えている。アートセラピーを通じて、保護者の悩みや不安を解決しやすくしていく。(絵を書くなどの作業を通し、自分のストレスを解消していく。)積極的に子育てしながら、保護者自身も自分の人生を振り返り、自己肯定感をもてるような講座を行う。</p>

事業の活動実績	6月3日	「ママのためのアートセラピー第1回」開催	会場 ハニカムステージ	参加者 1名
	6月9日	子どもの発達を理解する為に「自由な私へ・・・」講演会	会場 ハニカムステージ	参加者 9名
	7月5日	ABA行動療法による子育てのお話「よろこびが脳を育てる」	会場 コミュニティスペースCUORE	参加者 13名
	7月8日	「ママのためのアートセラピー第2回」開催	会場 ハニカムステージ	参加者 6名
	9月16日	「ママのためのアートセラピー第3回」開催	会場 ハニカムステージ	参加者 8名
	11月13日	「ママのためのアートセラピー第4回」開催	会場 ハニカムステージ	参加者 10名
	11月15日	「パパのコミュニケーション講座」	会場 ハニカムステージ	参加者 4名
	1月30日	「ママのためのアートセラピー第5回」開催	会場 ハニカムステージ	参加者 3名



事業の成果・効果	<p><b>「アートセラピー」の実施5回</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間30分、子どももいる中で絵を描いたり、形を作ったりと、想像以上に参加者が集中して作業に取り組むことができ、また周りとの会話を通して子育てや自分自身を振り返ることができた為、毎回来てくれる参加者も数名いた。</li> <li>・当初は子育ての悩みを話しながら相談もできるように、と考えていたが、参加人数も多く作業中は集中していることもあるので、悩みを話す場としては提供できなかったが、アンケートの結果から、参加者が一つの作業に取り組むことによって「心の整理」をする場になることができたとわかった。</li> </ul> <p>(アートセラピーは6回実施の計画であったが、予想よりも参加者が増え、材料費や会場費などの予算が合わず、3月の実施は中止になった。)</p> <p><b>「外部講師による講座」3回実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師は、発達、親子の関わり、家族間のコミュニケーション、という観点から講座を開催し、参加者からは「とても参考になった」という意見もあった。パパ向けの講座を取り入れたことで、直接、パパ側の意見も聞くことができ、これからの社会に必要な講座を今後増やしていけるように考えられた。</li> </ul> <p>*子ども家庭支援センター、市民センター等への、ポスター掲示、チラシ配布。 八王子市広報に参加者募集の掲載などで広報活動を行い、幅広い地域からの参加者を集められた。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>○できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>○できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>参加人数が予想以上になったことで、会場費が増えてしまったことや、材料費や宣伝物の費用も増えてしまった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>アートセラピーの参加者は予想以上に増えて、活動の認知度が高まった。各講演会はキャンセルなどもあったが、概ね参加者が定員になり、参加者からは、「子育て等に活かしたい」、「こんな講座もやって欲しい」等の意見も聞くことができた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>アートセラピーはママ達の話しを聞きながら進められるように、と考えていたが、人数が増えると悩みの相談等は話すことができず、子育ての悩みを話す場としての提供は難しいとわかった。しかし、ママ同士で雑談をする中で子育ての話しや、将来の目標などを共有することができ、とても前向きに自分と向き合える場になっていた。パパの講座も予想以上にパパ同士がお互いの事情を話すことができ、自分の家族を振り返る良いきっかけとなった。今後は、アートセラピーを軸にしてホームページを作成し、男女問わない子育ての支援体制と情報提供を行っていくことに決定した。</p>
---------	--

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	妊婦さん・未就園親子のための「シュタイナー・おひさまひろば」		
団体名	シュタイナー・おひさまひろば		
事業費	172,752円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的・妊婦さん・乳幼児親子対象のシュタイナー教育にもとづいた育児支援活動を行う。 ・早期教育の助長や育児情報の氾濫、アレルギーの増加、身近な相談相手の不在などにより不安を抱える方々が安心して集い、つながりを持てる場を提供する。
	内容・月1回程度、自然素材を生かした親子での遊び場や芸術体験、健康、アレルギーにも配慮した食育をテーマに、気軽に参加できるワークショップや勉強会を実施。 ・地域イベントに参加し、他団体とのつながりを持つ。 ・上記の活動を通じて、当団体の活動を広く知っていただく。

事業の活動実績	1. 4/23(水)10～11時半「身体にやさしいおやつ作りの会・1」 浅川市民センター調理室 親子9組参加
	2. 5/21(水)10～11時半「つみ木作りの会」 浅川市民センター和室 親子3組参加
	3. 6/1(日)10時半～14時半 シュタイナーこども園「おひさまの庭」オープンハウスに出店 おひさまの庭園舎(高尾) 自然素材を使ったワークショップ 親子20組名参加
	4. 7/2(水)10～11時半「音と響きの会・1」 浅川市民センター和室 親子5組参加
	5. 9/17(水)10～12時「雑穀料理の会」 浅川市民センター調理室 親子8組参加
	6. 11/9(日)10時半～14時半「八王子子どもまつり」に出店 陵南公園 フェイスペインティング親子27組参加
	7. 11/18(火)10～12時「小児科医による勉強会～子どもが熱を出したら・・・～」 浅川市民センター和室 親子8組、大人6名参加
	8. 1/28(水)10～11時半「身体にやさしいおやつ作りの会・2」 浅川市民センター調理室 親子5組参加
	9. 3/1(日)9時半～12時半「シュタイナーの水彩画ワークショップ」おひさまの庭園舎 大人7名参加
	10. 3/10(火)10時半～11時半 「音と響きの会・2 ライアーとうたのミニコンサート」 浅川市民センター和室 親子10組参加
尚、講師の都合により、1回分実施できなかった。	
* 広報活動	
・市広報およびHPへの掲載、市民センターやこども家庭支援センター等へのチラシ配布、掲示 ・地元情報誌きのねっこ掲載、HPやFacebookの活用	



事業の成果・効果	<p>○参加者の増加 参加延べ人数は親子 95 組、大人 13 名と前年度(親子 49 組)の約 2 倍となった。</p> <p>○参加者の満足度 参加者からは、「親子で楽しめました。また参加したいです。」「シュタイナー教育を実際に体験できてよかったです。子育てに生かしたいです。」「おひさまひろばに来るとホッとします。」「子連れで参加できる料理教室やコンサートはありがたいです。」など満足度の高い感想が多かった。</p> <p>○他団体とのつながり 当団体の活動を口コミや Facebook で知った他団体より依頼やお誘いを受け、以下の活動も行うことが出来た。参加延べ人数親子 20 組、115 名とたくさんの出会いがあり、当団体の活動を知っていただくよい機会となった。</p> <p>* 7/11(金)11~12 時「八王子おんぶ育児の会定例会にて音楽ワークショップ」実施 親子 16 組参加 * 8/25(月)午後「ファミリーフェス in はちおうじ決起集会」に参加おもちゃカフェ・ダットッチにて * 8/26(火)13~16 時「おんぶ紐虹染め体験会(8/26 午後)」 親子 4 組参加 * 10/25(土)10~16 時「ファミリーフェス in はちおうじ」に出展 JR 八王子駅南口とちの木デッキ 自然素材を使ったワークショップ 115 名参加</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4 と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4 と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3 と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所を高尾からみなみ野地域へと広げ、参加者数や会の認知度を上げていきたい。</li> <li>・テーマとしては、子どもの健康や食育、親子で楽しめるコンサートの需要が高いことが分かったので、今後の企画に活かしていきたい。</li> </ul>
---------	--

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子ポケットパークプロジェクト		
団体名	特定非営利活動法人ポケットパーク		
事業費	100,000円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>公園には少子化の影響からか利用者の減少が目立ち、『誰もいない空き地や公園が、実はポイ捨てや落書きなどといった迷惑行為の温床になっている』といえる。利用していない空地や公園はまちの評判を悪化させ、まちの印象を損ねる危険性がある。ポケットパークはまちの“移動公園”とし、ベンチ、テーブル、ひよけ、移動噴水ポンプを基本設備とし、参加型ワークショップなどを定期的に行いながら、まちへの滞留性と回遊効果を取り戻し、住宅街や商業地域への貢献も目的としている。</p>
	<p>内容</p> <p>本事業は、まちの未利用地、公園などで子ども達、高齢者達とワークショップを行い、ベンチ、テーブルなどを設置しながらコミュニティ広場に変えていく活動を行っている。これまで、八王子市内の中心市街地を中心に活動し、“移動公園”として親しまれている。その活動の継続と、まちの至るところで日常的にコミュニティ広場が形成されることを目標としている。</p>

事業の活動実績	<p>学生有志、子供たちと中心市街地の公園や多摩ニュータウン地域の公園でのごみ拾いを皮切りに、遊び場づくりとイベントを合計10回、16日間行った。ゴミ拾いは平均20名程度が集まり、ごみ拾い習慣をつけることができた。八王子市環境政策課や、東部地域公園指定管理者、こどものしあわせ課など、中心市街地の商店会との協働や、他のNPO団体や市民団体と総働するなど、多様なステークホルダーとの事業活動を行うことができた。</p>
	<p>5月31日三崎町公園にて子ども達とゴミ拾い。(20名)</p> <p>6月28、29日八王子チャレンジショップにて、ワークショップ。(10名)</p> <p>9月27日駒木野病院駐車場にて竹楽器製作(8名)</p> <p>9月28日子供たちと竹楽器演奏とチョークアート。(100名)</p> <p>10月17、18、19日八王子市中心市街地にて子どもたちとゴミ拾い(10名)</p> <p>10月24、25、26日八王子市中心市街地にて子どもたちとゴミ拾い(10名)</p> <p>10月25日南口公開空地にて、子供たちと竹楽器、チョークアート、巨大シャボン玉づくり100名程度</p> <p>10月26日八王子市夢五房にて、天狗のお面ワークショップ(30名)</p> <p>2月14日大栗川公園から緑道にかけてキャンドルリバーイベントの運営参加。1000名</p> <p>3月14日田町にて、ポケットパークの事業報告、ステークホルダーと合同会議 30名</p>

事業の様子または成果がわかる写真①



事業の様子または成果がわかる写真②



事業の成果・効果	<p>成果： これまで関わりのなかった、行政、商店会、学生、市内外の一般住民、専門家などと総働できたことで、多様な参加者に活動をPRできたのがよかった。また、中心市街地の3つの公園や、中町地域でも居場所づくりが議論され、空地にお休み処やコミュニティスペースをつくるプロジェクトを担当することになったのも良かった点である。さらに工学系、文化系の学生たちが積極的に参加してくれ、研究対象になったのも成果であった。まちでゴミ拾いを行うことで、どの場所が治安がよいかわかるようになり、防犯環境デザインへの一助となることもできた。</p> <p>効果： 子どもたちの居場所づくり（ベンチ、テーブル、イベント等）を行うことで、母子がまちへ滞留することができた。回数を重ねることで、認知度を得、まちの至るところで行ってほしいといった要望を得ることができた。また、まちづくり会社、まちづくり協議会、他のまちづくり団体が、当事業の居場所づくりを参考にし、プロジェクトの一部になるといった、まちへの拡散効果もあった。</p> <p>イベント実施については、1,000名を超えるイベントの駒木野フェスティバル、ファミリーフェス、AKITEN、FARMART、大栗川キャンドルリバー、ユーロードのイベントなどにも参加し、各イベントでも遊び場づくり、居場所づくりを行うことができた。引き続き、まちの公園、空き地、公開空地を利用し、子どもや親たちの居場所づくり、まちの滞留性、回遊効果を上げる活動を行っていく方針である。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 他イベントと同時にやることで、広告費、公園使用料が発生しなかった。備品は、寄付で賄い、支出が発生しなかった。今回要望額以外の収入はなかった。
	その他、評価すべき点等	他イベントや団体との協働や学生を巻き込むことで、イベントの集客性を上げることができ、まちの滞留性と回遊性を上げることができた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	各イベントに対して共感してくれる学生が10名以上は集まるようになったため、今後は学生による運営を推進しながら、まちへ浸透させるワークショップを行っていきたい。現場と研究を両立しながら、持続的な活動を行っていく方針である。
---------	--

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	MOA 美術館八王子児童作品展		
団体名	MOA 美術館八王子児童作品展実行委員会		
事業費	147,635 円	補助金額	45,000 円

事業の目的・内容	目的 日頃子どもたちの創作活動を奨励することで、「社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成」「自ら学び自ら考える力などの生きる力の育成」「伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与」など、子どもの健全なる成長を願い、社会教育ならびに情操教育の一端を担うこと
	内容 市内小学生児童を対象に、絵画作品の募集、いちょうホールに於いての全数展示、審査、表彰。入賞作品について、市内の病院や飲食店等に展示。ワークショップの開催。

事業の活動実績	<p>市内小学生児童 223 名から絵画作品の応募があり、全数をいちょうホール展示室に展示した。3名の審査員により、審査を行い、29名を表彰した。</p> <p>市内の 20 件の病院、飲食店等に協力頂き、施設や店内において、29名の入賞児童の絵画作品を巡回展示した。</p> <p>八王子志民塾の卒業生の他、多くのシニアの方々に、ボランティアとして参加協力頂いた。</p>
---------	---

事業の様子または成果がわかる写真①



事業の様子または成果がわかる写真②



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>普段、いちょうホールに足を運ぶことが少ない市民の方々にも、病院/飲食店等に児童の絵を楽しんで頂け、患者さん、お客さんから元気になった、励まされたという沢山のメッセージを頂いた。メッセージの内容から、お店という堅苦しく無い環境で、1点の児童の絵に、大人達が心を奪われ、時には、勇気づけられたことが確認できた。お店に、家族づれで、来られた児童のご両親からも、児童の自信になるので、継続して行って欲しいとコメントを頂いた。</p> <p>病院内スタッフの方々からも、待合室の雰囲気が、子供達の絵で、変わったというコメントを頂いた。飲食店のオーナーさんからは、地域に根付いて商売を続けたいと常々考えている中で、市内小学生やご家族と、絵を通じて繋がれることは、ありがたい機会なので、今後も継続したいとコメントを頂いた。また、3件のお店、介護事業所、青少年育成施設から、来年度の巡回展示に、参加したいと申し出を頂いた。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="radio"/> ① できた    ② 概ねできた    ③ あまりできなかった    ④ ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> ① できた    ② 概ねできた    ③ あまりできなかった    ④ ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> ① ほとんど同じ    ② 多少の変更があった    ③ 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>多くの市民の方々に、児童の絵画作品に触れて頂くため、市内病院やお店での巡回展示の様子を紹介した写真パネルや小冊子を作成して、公共の場所やお店において、アピールしたい。</p>
---------	--



平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	能を楽しむ会		
団体名	能を楽しむ会		
事業費	208,694 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>日本の代表的な伝統芸能の一つ能楽は、年々能楽愛好者（鑑賞者や謡曲・仕舞等の稽古者）の減少に歯止めがかからず、このままでは能楽師たち能楽関係者の将来が危ぶまれる状況にあります。八王子市においても同様の状況にあり、能を楽しむ会では、能楽を需要面から支えている能楽愛好者に対する維持活性化はむしろ重要な課題ではありますが、それ以上に、能楽には関心・興味をもっていない一般層や興味・関心はあるけれども能楽愛好者にまでは育っていない見込客層に対して、何らかの刺激付けを行い、徐々にではありますが能楽愛好者を増やしていく必要があると判断致しました。従って本事業の目的は、主に上記一般層や見込客層に対する刺激付けを通して能の魅力を感じてもらい、ひいては多摩地域での能楽愛好者の底上げの一助になることを期して実施するものであります。</p>
	<p>内容</p> <p>能楽師の鈴木矜子と、能楽愛好者として凡そ50年間謡曲などの稽古にいそんでおられるエッセイストの井上悦子、この2人のお話から構成。能楽師のお話『身体が喜ぶ能の動き、咽喉が喜ぶ能の発声』では、謡曲の発声や仕舞の基本である「すり足」の実演を、来場者参加の上行います。また、富士山のユネスコ文化遺産登録に合わせて今話題の「羽衣」を、女流能楽師2名による地謡も入れて、仕舞を実演。お話の後半には、エッセイストが『能の歴史と美しさ、楽しみ方』についてお話します。</p>

事業の活動実績	<p>5月26日「能を楽しむ会」役員会（以下、単に役員会）でイベント骨子について打合せ/5月29日A氏（大学非常勤講師）に講演依頼/6月12日東中野にてA氏の紹介者と打合せ/6月17日市役所職員に金春流トークショウ（5月）について意見聴取/6月18日役員会で依頼講師発表、イベント会場に掲出するポスター提出期限確認、サブタイトル決定/6月19日A氏と講演内容について打合せ/6月20日諸事情によりA氏の講演キャンセル/6月21日役員会でチラシ案作成、開催日の来客受付・入退場管理について議論。A氏の講演キャンセルを代表が報告。/6月28日役員会にて改めて外部講師としてエッセイストの井上悦子氏に決定、キャッチコピーを初案の「身体が喜ぶ能空間」を止め、「DO YOU 能」に変更、印刷仕様・枚数決定、印刷会社検討、印刷仕上り日決定。市広報に講座名の変更依頼/7月11日役員会開催、チラシ2000枚届けられたが、デザインに問題があり、チラシの使用は止め、新たにチラシを作成することで意見が一致。過去7回にわたって「能を楽しむ会」のデザインを手がけた人（非役員）にデザイン依頼/7月20日印刷会社より制作しなおしたチラシ届く。会場となる北野市民センターに配付/7月21日支援センターに配付/7月24日協働推進課にチラシ（計1400枚）・ポスターを届け、施設別配布枚数を打合せ/7月27日役員会にて公共施設以外のチラシ配布先・枚数の確認/7月31日新聞販売店にミニコミ紙への掲載依頼/8月1日集客協力者二人に「能を楽しむ会」の趣旨説明し、口コミによる集客依頼/8月13日北野市民センターにて役員はじめ関係者集合、集客について打合せ（役員のほか集客協力者も出席）/8月14日集客数が50名を超えた程度で、過去に行った「能を楽しむ会」への参加者や口コミ協力者への一層の働きかけが必要と判断し、急ぎDM発送先や口コミを依頼する協力者のリストアップ。/8月1日～20日過去開催の「能を楽しむ会」での集客実績者に集客依頼、過去の「能を楽しむ会」出席者40人宛てにDM発送。15日市広報紙・ミニコミ紙などに掲載/8月25日代表宅で役員会/8月30日役員会で役割分担（受付）など最終打合せ/8月31日アンケート質問票作成を非役員鈴木氏に依頼/9月3日「能を楽しむ会」開催</p>
---------	--

事業の様子または成果がわかる写真



事業の成果・効果	<p>【来場者数】受講料支払者126名+招待者3名=来場者129名。内訳：男18.6%・女81.4%、既往客26.4%・新規客73.6%、また、集客協力者(13名)のロコミによる来場者は55名で受講料支払者の43.7%に上った。</p> <p>【アンケート結果】アンケートの回収率:61.2%</p> <p>イベントに対しては「非常に満足」65.8%、「やや満足」22.8%、「どちらともいえない」3.8%、無回答7.6%で不満(非常に不満・やや不満)は皆無であった。能楽(謡曲・仕舞など)に関する稽古の経験有無にかかわらず、来場者の9割近くが、今回のイベントに満足していることは、次の能楽経験者と未経験者の感想文からも窺い知れよう。</p> <p>(能楽経験者：男・80歳以上・稽古中)</p> <p>「懇切丁寧な解説と実演で舞台と観客が一体となった感じで実に感動しました。観客は能が一層身近に感じられるようになったのではないかと思います」。</p> <p>(未経験者：女・40代・稽古歴なし)</p> <p>「流派や作品・形式がいろいろあることに感心しました。すり足の姿勢も学べて扇の方も少し教えていただいて、とても興味深かったです。能楽師の方の舞を実際に見られたのがとても貴重でした。生の能舞台を見てみたいくなりました」。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者数がほぼ目標の定員数に達した。</li> <li>・イベント内容に対する満足度が9割近くに達した。また、稽古歴のない人の中には、能の魅力に感動しただけにとどまらず、「今後も同様な会に出席したい(2名)」「もっと本など読んで勉強したい(2名)」「生の能楽を鑑賞してみたくなった(4名)」「歩き方、声の出し方を毎日の生活に取り入れていきたい(1名)」「稽古をしたい(1名)」といった、次のアクションを示唆するような積極的な感想も見られ、今回の事業目的はほぼ達成されたといえよう。</li> <li>・イベントの主な認知経路として「友人・知人」をあげた人が約半数を占め、ロコミの重要性を再確認した。</li> <li>・「DO YOU 能」というキャッチコピーに対する好感度が予想を超えて高く、今後のチラシ作りに大きなヒントを得た。</li> </ul>	
	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた    ② 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた    ② 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ    2 多少の変更があった    ③ 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>計画段階での謝礼・報酬額は、女流能楽師2名、外部講師1名で計約10万円を見込んでいたが、最初に依頼した外部講師1名だけで10万円必要となった為、集客数が50名では赤字が出ると見込まれ、130名に変更し事業による収入増を図った。しかし、直後外部講師の講演がキャンセルとなり、計画段階で見込んでいた謝礼・報酬額約10万円で集客数も当初の50名に戻すことも検討されたが、計画段階で抜け落ちていたアンケートとその実施に伴う費用の計上が必要視されたことと、加えてアンケート予想回収率を30%(結果的には60%の高い回収率となった)とすると、有効回答数や精度の面から目標集客数が多い方が好ましいと判断し、結局集客数を130名に設定したことが活動費増につながった。また、最初予定していなかったチラシデザインを外部に委託したこと等々、予想外に活動費も増えることとなった。</p>
その他、評価すべき点等	<p>今回イベントに成功した大きな要因の一つとして、能面を実際に観客につけ、扇子をもたせ、すり足を舞台上で体験させたことを挙げておきたい。</p>	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今回は一般層から愛好者層まですべての層の人が来場されたが、もとより今回事業の主対象はチラシにも反映しているように一般層・興味・関心層であって、この層にあったイベントを今後も継続していくことが肝要であろう。一方、能楽愛好者の中には、能楽に関して高い知的欲求や向上心がある人が多くみられ、この層に対するイベントなどによる刺激付けも能楽需要の維持活性化という点から必要となろう。要は対象層ごとに内容を変えたイベントを継続的に行うことによって一般層→興味・関心層→能楽接触層→能楽愛好者層へと育てていくことが可能となり、ひいては能楽愛好者層の底上げに結びつく。</p>
---------	---

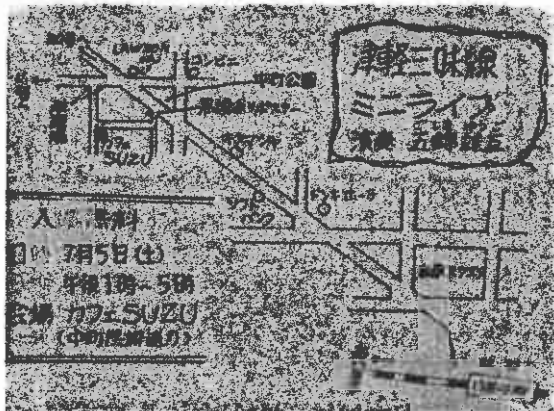
平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	「ようこそ中町へ」集客・誘客イベント		
団体名	カフェSUZUネット		
事業費	65,000円	補助金額	65,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>中町に今も残る芸妓文化、料亭があり、古き良き時代が回顧できる場所である。しかし、西放射線通り中町から西に広がる中心市街地へ足を延ばす来街者が少ないことから、より多くの来街者を、産業観光の魅力溢れる中町周辺へ回遊させることを目的とする。</p>
	<p>内容</p> <p>中心市街地への来街者を、中町周辺へ回遊させるための誘客イベントを開催した。また、情報誌へ店情報を提供し誘客策を図った。</p> <p>開催イベント</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 津軽三味線演奏</li> <li>2. アコースティックギター演奏会</li> <li>3. アイリッシュギター演奏会</li> </ol> <p>情報誌 「八王子ランチ食べある記」</p>

事業の活動実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 五錦雄互 津軽三味線演奏会 平成26年7月5日、26日 8月2日 (八王子まつり開催時) 9月20日 (おわら風の舞開催時) 10月8日 12月20日</li> <li>2. 村島佳佑 アコースティックギター演奏会 平成26年 9月20日 10月18日、19日 12月20日</li> <li>3. アイリッシュハーブほか演奏会 平成27年3月29日</li> </ol>
---------	--

事業の様子または成果がわかる写真①



26.7.5 五錦雄互ライブ  
案内

事業の様子または成果がわかる写真②



26.7.5 五錦雄互ライブ

事業の成果・効果	<p>中町はその街づくりから、三味線の音色がマッチする場所であることから、三味線演奏会が始まるや否や、店を覗き入店される方が増え、満席状態が続き、飛び入りで参加されたお客様が自慢の喉を披露するなど、活気にみちたイベントとなった。</p> <p>来店された方は、皆様同様に足を踏み入れたことがなく、このような機会がなければ、来ることもしなかつたとおっしゃっていたのが印象的であった。</p> <p>北口マルベリーブリッジをはじめ、近隣市などで路上ライブを行っている本市在住の若者によるギター演奏やアイリッシュハーブ演奏には、愛好家が多く来店され、三味線演奏会と同じく、中町へ足を運べたこと、芸妓の街であったことなどを知り、一応に興味をもって帰宅された。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた    2 <input type="radio"/> 概ねできた    3 <input type="radio"/> あまりできなかった    4 <input type="radio"/> ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた    2 <input type="radio"/> 概ねできた    3 <input type="radio"/> あまりできなかった    4 <input type="radio"/> ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 <input type="radio"/> ほとんど同じ    2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった    3 <input type="radio"/> 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>当初予定していた団体等と日程調整が整わず、開催できないことから、演奏者等を変更し開催したものの。</p>
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>三味線等を通じファンとなったお客様も増えたことから、演奏者とは今後も機会をとらえ継続して開催する予定。</p>
---------	--

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	子ども表現ワークショップ事業		
団体名	さくらんぼ学園		
事業費	108,177円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p><b>目的</b>                  学校生活で集団に溶け込めずに、悩んでいる発達障害や不登校の子どもたちがいる。そんな小学生や中学生が表現活動を行う中で、自分の才能を見出したり、人の能力に触発されたりしながら、自分に自信を持ったり、おたがいを理解したり、信頼する喜びを味わえるような場を地域に造成するため。</p>
	<p><b>内容</b>                  学校生活にうまくなじめない発達障害や不登校の子どもたちを対象に、腹話術や書道アート、テレビスタジオ体験などを通して、人と通じ合える喜びや楽しさを共有できる場づくりを行う。</p>

事業の活動実績	<p>■ 第1回 腹話術講座 (実施7月)                  南大沢生涯学習センター・クリエイトホールにて実施                  …参加者 延べ6名</p>
	<p>■ 第2回 書道アート (10月・11月)                  榎原安元邸・クリエイトホールにて実施                  …参加者 延べ16名</p>
	<p>■ 第3回 ビデオ体験・テレビスタジオ体験 (11月・12月)                  南大沢周辺・クオレにて実施                  …参加者 延べ7名</p>
	<p>■ 第4回 言葉を使わないコミュニケーション講座 (2・3月)                  由木中央市民センター・長池公園ネイチャーセンター・クリエイトホール                  …参加者 延べ12名</p>

事業の様子または成果がわかる写真①



事業の様子または成果がわかる写真②



事業の成果・効果	<p>○活動を通じて、週末家から出なかった子どもたちが、友達と出会うことができた。</p> <p>○講師を依頼することを通して、様々な技能を持った人々と知り合うことができた。</p> <p>○広報活動を通じて、本事業の取り組みが市民に広がった。</p> <p>○腹話術体験では、10月にあった南大沢市民センター祭りに、講座の受講生と協力して参加することができた。他の生涯学習団体とのつながりもできた。</p> <p>○書道アートの講座では、知り合いの方の自宅サロンを利用できたので公共の場とは違う、くつろいだ気持ちでふれあうことができた。</p> <p>○テレビスタジオ体験では、「楽しも！堀之内実行委員会」の協力があって、実際に放送カメラに触れる体験、子どもたちが、カメラの前で得意なことを披露する体験など、活動の幅が大きく広がることができた。</p> <p>○テレビスタジオ体験では、スタジオでカメラに触るだけではなく、音声の機械やスイッチングの機械など、放送の裏方の仕事も専門家から学ぶことができた。</p> <p>○手話の体験会では、初心者対象ということで、いきなり手話ではなく、言葉を使わないコミュニケーションということからスタートしてみた。</p> <p>○声をかけないで、気持ちを伝えることは、親子のコミュニケーションにとって、とても役に立つものだということが実感された。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 <input checked="" type="checkbox"/> できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <input checked="" type="checkbox"/> できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ    2 <input checked="" type="checkbox"/> 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初、撮影カメラ・編集機材を購入予定であったが、譲り受けることができた。</li> <li>・腹話術の体験が4回から2回に減ったことで、新たに書道アートの講座を開催できた。</li> <li>・広報・集客に課題が残り、収入に誤差が生まれた。</li> </ul>
	その他、評価すべき点等	<p>撮影カメラの使い方を教わったことで、子どもたちが映像の作り方を身近に学ぶことができた。今後は撮影や編集を学び、自分たちの日常を情報発信していく力を養っていきたいと考える。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>八王子市内の不登校の児童生徒数は500人を超える。本年の事業を通じて、不登校や発達障害の子供たちに、人と交流する喜びや、才能を伸ばす体験をギフトすることができ、この活動は今後も継続する意義は大きくあると考える。</p> <p>しかし、課題は知り合い以外の不登校の子どもに、この活動を直接届ける手段がないため、必要な家族のもとに必要な情報が届かないことである。教育支援課との協力が不十分であったことは大変心残りである。この事業以外の形で、不登校の家庭の支援を継続して行いたい。</p>
---------	--

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	MUSIC BASKET~障害者・未就学児可の気楽なコンサート~		
団体名	MUSIC BASKET		
事業費	336,243円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 障害をお持ちの方、未就学児など、普段なかなかコンサートに行く事ができない方々に気楽に音楽を楽しんでいただける演奏会の開催。 また、上記のご家族、保護者の方が、自身も音楽を楽しみ、ご家族と一緒に音楽に触れることのできる機会を提供すること。
	内容 クラシックから、ジャズ、お子様も楽しめるアニメソングなど、幅広い楽曲の使用。また、会場のお客様と一緒に歌ったり、体を動かしたりと、音楽を聴くことのみでなく、参加する事によって楽しんでいただけるようなプログラムを設ける。

事業の活動実績	4月	出演者人選、選曲、プログラム構成
	5月7日	ミーティング (プログラム・曲目・チラシ)
	5月21日	ミーティング (曲目・映像)
	6月末	夏休みイベントスケジュール掲載 (市内の各小学校に配付)
	7月	南大沢文化会館 催し物掲載
	7月1日	「広報はちおうじ」特集記事
	7月1日	八王子市市民活動支援センター 市民活動情報欄への記事掲載、ホームページ掲載
	7月14日	ミーティング
	7月7日	チラシ配布開始
	7月15日	「広報はちおうじ」ひろば欄に掲載
	7月15日	八王子市由木児童館での訪問演奏
	7月17日	南大沢文化会館 会場打ち合わせ
	7月25日	東京新聞ショッパー 記事掲載
	7月30日	ミーティング
	8月1日	南大沢文化会館 会場打ち合わせ
	8月13日	朝日新聞夕刊 マリオン 記事掲載
	8月25日	全体リハーサル
	8月27日	全体リハーサル
	8月29日	全体リハーサル
	8月30日	MUSIC BASKET ~障害者・未就学児可の気楽なコンサート~ 時間 13:30 開演 (13:00 開場) 場所: 南大沢文化会館主ホール (定員数 500) 料金: 障害をお持ちの方・未就学児 500円 一般 1000円 プログラム: 一部 J. ガーシュイン/アイ・ガット・リズム, F. ショパン/ノクターン, 映画メドレー, ディズニープリンセスメドレー, W.A モーツァルト/パピの二重唱, 参加型「サンバ de 音かご」他 二部 松本悠理香 編/お箏と三絃による懐かしのメロディー, 源田俊一郎 編/ 故郷の四季より抜粋, F. リスト/ラ・カンパネラ, F. サイ/トルコ行進曲, ジョン・ウィリアムスメドレー, ルパン三世のテーマ, ゲスト出演「ここかまど」/涙そうそう 鳥唄、, ゲスト出演「たき坊」/滝山のためきさん, THE BEATLES/ Ob-La-Di, Ob-La-Do 他

参加型の様子



アンコールの様子



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>・来場者数 298名</p> <p>[お客様アンケートからのお声]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々なジャンルの曲や参加型、よく知っている曲目が多かったので気楽に楽しむ事ができました。なかなか障害者を一般のコンサートに連れて参加する事はできないので、今後も続けて開催してほしいです。</li> <li>・とても良かったです。育児で音楽などクラシックを聞く事も少ないですが、感動を思い出しました。</li> <li>・「気楽な」との事でしたが、とても上質で楽しめました。</li> <li>・孫に誘われて初めて参加させていただきました。盛りだくさんで楽しかったです。元気が出て若返って帰れます。ありがとうございました。</li> </ul> <p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に引き続き補助金をいただく事ができ、広報紙、市内の各小学校へ配布されるイベントスケジュールへの掲載、施設等への優先的なチラシ配布など広報活動の充実により、当団体及び活動を広くPRする事ができた。そしてその結果として、昨年を上回る多くのお客様、また、今回は幅広い年代の方々にご来場いただく事ができた。</li> </ul> <p>[効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を聴く事による、癒し、やすらぎの効果。</li> <li>・障害をお持ちの方や未就学児、そのご家族など、普段演奏会になかなか行く事ができない人々にとって、他者や家族とともに音楽を楽しむ事、喜びや、やすらぎなど、心地よい感情の共有による充実感を感じる事ができる。そしてそれは相互間でのコミュニケーション促進にもつながる。</li> <li>・参加型で体を動かす事、歌う事による心身の活性化や、みんなで音楽を演奏する事により、一体感を得る事ができる。</li> </ul>
----------	--

自己評価	<p>事業は申請どおり実施できた</p> <p>1 できた    ② 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	<p>事業の実施によって、期待した効果をあげることができた</p> <p>① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	<p>実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について</p> <p>① ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p>
	<p>その他、評価すべき点等</p> <p>昨年演奏会の客席数不足について改善する事ができ、今回のお客様アンケートでは、会場の広さが丁度よく、聴きやすかったなどのお声をいただいた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>来年度は、8月29日(土)に同ホールの使用を確保した。</p> <p>今後自立、継続した活動を目指すための運営体制強化を図るとともに、演奏会運営費の確保方法について検討と実施をする。(施設等への訪問演奏にて謝礼金をいただき、運営費にあてるなど)。</p> <p>ご来場されたお客様からは、今後もぜひ継続してほしい、来年も聞きに来たいなど励みになるお言葉を数多く頂戴し、お客様のご期待に応えるためにも、次回演奏会の開催に向け最大限努力していく所存である。</p>
---------	---



平成 26 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	生産・加工の容易な地元農産物の普及		
団体名	特定非営利活動法人すまいるカフェ		
事業費	158,588円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>◇高齢者がただ食べるだけでなく、生産者とふれ、自分で作ったものを食べ、ピアノの音色に口ずさみながら同じ時間を共有することで、生産者とひと・もの・ところをつなぐコミュニティの再生・活性化更には、6次産業化・地産地消・経済の活性化・環境保全に寄与したい。</p>
	<p>内容</p> <p>◇地元農産物を使った料理教室の開催                  ◇生産、加工の容易な農産物の普及の為の講習会                  ◇料理&amp;音楽で楽しいコミュニケーション</p>

事業の活動実績	<p>うたごえサロン「すまいるカフェ」(らいふねっとMOE) 9回開催) 62名                  (地元農産物を使った料理教室含む)</p> <p>7/1 梅ジャム作り講習会 (10名) (元八王子、湯浅宅)</p> <p>7/7 梅干しづくり講習会 (8名) (元八王子、湯浅宅)</p> <p>8/23 ブルーベリージャム作り講習会 (川口地区10名、)</p> <p>8/27 " (みつい台5名)</p> <p>7/20 トマトソース作り講習会 (元八市民センター17名)</p> <p>8/19 " (みつい台5名)</p> <p>9/13 バジルソースづくり講習会 (元八王子地区7名)</p> <p>9/17 バジルソース作り講習会 (馬場谷戸地区4名)</p> <p>11/5 へびうり試食会 (元八王子・結の会 10名)</p> <p>11/23 梅おかか作り講習会 (みつい台、5名)</p> <p>12/15 獅子柚子マムレード作り講習会 (元八王子地区9名)</p> <p>12/18 我笑会へ地元野菜を使った食事・歌提供 (川口市民センター30名)</p>
---------	--

らいふねっと Moe うたごえサロンの様子



我笑会へお食事サービス



事業の成果・効果	<p>らいふねっと Moe での地元農産物を使った料理教室とうたごえサロンでは、多摩ニュータウン鹿島地域の一人暮らしの方が8名参加。同じ地域に住んでいてもなかなか顔を合わせることも無いメンバーが、松井先生のピアノ演奏に合わせて楽しく合唱。あとは地元で採れた珍しい野菜料理を食べながら、料理方法を伝授したりされたり・・・4階建てでエレベーターが無く孤立した一人暮らしや、空洞化した商店街が問題になっている地域ですが、食べる事、歌う事は、確実に人の心をつなぐようで、あっという間にコミュニティが出来ました。</p> <p>収穫を放棄された梅、獅子柚子などを使った加工品の講習会は、廃棄されそうな物が見事に再生されてゆくさまを体感することが出来ました。トマトソース、ブルーベリージャム、バジルソース作りは、高価なものが自分で作れるという事から、とても好評で参加人数が予定より増加しました。</p> <p>へびうり試食会は食用には初めての試みということで、天ぷら・ピクルス・煮物・チャンプル・スープなどさまざまな試作を重ね、10種類以上の食べ方を提案して、読売新聞多摩版に掲載されました。</p> <p>*らいふねっと MOE・結の会・我笑会など他団体と提携することで、活動内容、範囲が広がり、新聞掲載など広報活動にもつながった。</p> <p>*へびうり試食会が高く評価されたので、来年度の事業拡大にもつながった</p> <p>*何度かの加工品講習会で来期の加工品ブランド化への、経験を積めた事は、大変貴重な財産になった。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 <input checked="" type="radio"/> ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>梅は放置された梅林で収穫、トマトは耕作放棄地での栽培、獅子柚子は邪魔なので伐採しようとしていた果実、など食材としたもののほとんどが、身近でしかも利用されることなく捨てられているものを使用、サロンでのコミュニティの再生と共に、新たな命の再生もできた</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>2年間の経験・実績をふまえて、すまいるブランドを立ち上げ、一般商品に負けない加工品を生産販売する。(予定品目：梅ジャム・梅干し・梅おほか・トマトソース・バジルソース・ブルーベリージャム・へびうりピクルス・玉ねぎピクルス・獅子柚子ママレード)</p> <p>へびうりは滝山地域の耕作放棄地で栽培、食用へのアピールをし、滝山地域の観光活性化に寄与したい。</p>
---------	--

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	負けない家計になる！ ファイナンシャルプランナーによるセミナー&相談会		
団体名	FPネットはちおうじ		
事業費	117,695円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 いかなる経済環境下であっても、個人家計には常に自己責任が求められる。その自己責任をファイナンシャルプランニングの専門知識と技能でサポートしたいと考えている。市民（消費者）との接点から当団体の活動を市内全域に広く知っていただきたいため、本事業を企画した。
	内容 八王子市内の市民（消費者）を対象に『暮らしとお金のセミナー&相談会』として、それぞれの回にメインのテーマを設け、テーマに沿ったセミナー各回60分×3本と個別相談（要予約）で構成するイベントを3回行った。

事業の活動実績	■ 第1回 2014年7月12日 生涯学習センター川口分館で開催 『介護と相続～お金のまさか！に備える～』 セミナー60分を3本（介護の基礎知識、高齢者医療制度、税金の改正点） 個別相談2組に回答、来場者総数22名（うち有料参加者12名）
	■ 第2回 2014年9月23日 クリエイトホール第5、第6学習室で開催 『お金のあやしい話の見分け方』 セミナー60分を3本（資産運用の注意点、葬儀とお墓について、海外旅行の注意点） 個別相談4組に回答、 来場者総数30名（うち有料参加者22名）
	■ 第3回 2015年1月31日 クリエイトホール第6、第7学習室で開催 『終活～資産の片つけ方残し方～』 セミナー60分を3本（個人の起業と事業承継、株主優待について、60歳からの終活） 個別相談7組に回答、 来場者総数28名（うち有料参加者20名）

事業の様子または成果がわかる写真①



事業の様子または成果がわかる写真②



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全3回の『セミナー&amp;相談会』を通じて、FPとして家計設計に必要な知識を伝え、個別相談には家計の悩み、将来のお金の悩みに対して的確な回答を行うことができた。</li> <li>■ 来場者は回を重ねるごとに増え、毎回2桁の来場者を確保できた。アンケート結果は「専門用語もわかりやすい解説でよくわかった。」「このセミナーに来れば、必ず1つ2つは目から鱗がある。」など、大変好評であった。</li> <li>■ 個別相談では老後に抱える不安の相談（年金生活と保険の見直し、実家の片付け、相続の準備、熟年家庭内別居など）が多かった。個別性が高く、FPでなければ的確に回答できない内容だったと思われる。相談者にとって明日からの生活設計を改善する有意義なきっかけとなったものと考えている。</li> <li>■ 事業の実施にあたり『広報はちおうじ』に記事掲載をしたり、チラシ等を市の施設に配架するなど、団体の活動を広くPRすることができた。少しずつであっても団体の認知度は高まっていると考える。</li> </ul>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p>
	その他、評価すべき点等	<p>回を重ねるごとに来場者が増え、イベントとして受け入れられていることを実感する。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 平成27年度も『FPによる暮らしとお金のセミナー&amp;相談会』を継続して行う予定である。</li> <li>■ 八王子市内の消費者団体として、消費生活センターと協働しつつ金融教育の担い手の役割を果たしていきたいと考えている。</li> </ul>
---------	--

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	視覚障害者支援活動と点字の習得		
団体名	竹の子の会		
事業費	93,569円	補助金額	73,000円

事業の目的・内容	<p><b>目的</b> 視覚障害者へのボランティアをしたいが、窓口がわからない。点字を学びたいが、ハードルが高そう、仕事をしているので、平日の講習は受講できない。そんな方々に、初心者でも入門編として学べ、講習日を土曜日に設定することで、仕事を持っていても、受講しやすい環境を作る。また、ボランティア活動を通じて視覚障害者への理解を深め社会貢献を目指す。</p>
	<p><b>内容</b> 点字に興味を持ってもらう足がかりとして、点字の全くの初心者の入門講座を月1回開講する。平日仕事をしていても受講しやすいよう講習日を土曜とする。視覚障害者への理解を深めるため、ボランティアの活動や、盲学校などの公開講座などに参加する。</p>

事業の活動実績	<p>●点字講習会 市民活動支援センターにて 講師 廣渡俊明氏</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回 平成26年4月19日 13:00~17:00</td> <td>第7回 平成26年11月29日 15:00~17:00</td> </tr> <tr> <td>第2回 平成26年5月17日 13:00~17:00</td> <td>第8回 平成26年12月13日 15:00~17:00</td> </tr> <tr> <td>第3回 平成26年6月21日 13:00~17:00</td> <td>第9回 平成27年1月24日 13:00~17:00</td> </tr> <tr> <td>第4回 平成26年7月26日 13:00~17:00</td> <td>第10回 平成27年2月14日 15:00~17:00</td> </tr> <tr> <td>第5回 平成26年9月13日 15:00~17:00</td> <td>第11回 平成27年3月14日 15:00~17:00</td> </tr> <tr> <td>第6回 平成26年11月1日 13:00~17:00</td> <td></td> </tr> </table>	第1回 平成26年4月19日 13:00~17:00	第7回 平成26年11月29日 15:00~17:00	第2回 平成26年5月17日 13:00~17:00	第8回 平成26年12月13日 15:00~17:00	第3回 平成26年6月21日 13:00~17:00	第9回 平成27年1月24日 13:00~17:00	第4回 平成26年7月26日 13:00~17:00	第10回 平成27年2月14日 15:00~17:00	第5回 平成26年9月13日 15:00~17:00	第11回 平成27年3月14日 15:00~17:00	第6回 平成26年11月1日 13:00~17:00	
	第1回 平成26年4月19日 13:00~17:00	第7回 平成26年11月29日 15:00~17:00											
第2回 平成26年5月17日 13:00~17:00	第8回 平成26年12月13日 15:00~17:00												
第3回 平成26年6月21日 13:00~17:00	第9回 平成27年1月24日 13:00~17:00												
第4回 平成26年7月26日 13:00~17:00	第10回 平成27年2月14日 15:00~17:00												
第5回 平成26年9月13日 15:00~17:00	第11回 平成27年3月14日 15:00~17:00												
第6回 平成26年11月1日 13:00~17:00													
<p>● ボランティア活動及び事業見学等</p> <p>H26.4.27 NPO法人八王子視覚障害者協会総会 八王子心身障害者センター</p> <p>H26.5.18 東京都盲人協会多摩支部総会 クリエイトホール</p> <p>H26.6.15 NPO法人八王子視覚障害者協会事務所総会 八視協事務所</p> <p>H26.6.28 八王子盲学校 学校公開見学</p> <p>H26.7.12 八王子盲学校夏祭り 八王子盲学校</p> <p>H26.10.4 八王子盲学校運動会見学</p> <p>H26.10.20 NPO法人八王子視覚障害者協会70周年記念行事 八視協事務所、クリエイトホール</p> <p>H26.11.16 日本点字図書館公開行事見学、体験</p> <p>H26.11.29 視覚障害者のための八王子駅、京王八王子、八視協事務所付近 歩行調査</p> <p>H26.12.23 アイメディアフェア見学 東商センター</p> <p>H26.6月~10月 八王子心身障害者福祉センターへの送迎 15回</p>													



<点字講習会の様子>



<H26.10.20 ボランティアによる受付の様子>

事業の成果・効果	<p>事業の成果</p> <p>市の補助金を継続して得られたため、前年度に続いて点字の講師を頼め、講習会が定期的に開けたため、点字の習得も進んでいる。</p> <p>また、講師を視覚障害の方に依頼しているため、点字の学習だけでなく、日常生活の不便さなどについても伺え、視覚障害の方への理解を深めることができています。</p> <p>点字講座を土曜に設定したので、仕事をしている方の参加ができています。又、今年も、この会の講座から、点字に興味を持った人が、ステップアップした別の講座を受講するなど、成果があがっている。</p> <p>又、ボランティア活動においても、八王子視覚障害者協会を中心に、八王子盲学校の夏祭りのお手伝いなど、会員が積極的に取り組んでいる。</p> <p>昨年同様、視覚障害者のための交通調査を実施。今年は、範囲を広げ、八王子駅付近だけでなく、京王八王子駅付近及び八王子視覚障害者協会の事務所付近の信号機音響機器、点字ブロックの設置状況などの交通調査をして、視覚障害者への理解を深めた。</p> <p>成果</p> <p>今年度も、この会の活動を通じて、より視覚障害者への支援を深めようと、「同行援護従業者養成研修」を受講し、資格を取得した会員も2名おり、資格取得者は7名となり、社会貢献の場が広がっている。</p> <p>講習会会場のエレベーターに階数の点字表記がなかったため、建物の所有者の了解をえて、階数の点字を貼付した。</p> <p>依頼されたボランティアだけでなく、点字図書館や盲学校などの行事の見学や講座受講など積極的に参加し、情報を得て、会員同士の情報交換もさかんになってきている。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p><input type="radio"/> 1 できた    <input type="radio"/> 2 概ねできた    <input type="radio"/> 3 あまりできなかった    <input type="radio"/> 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p><input type="radio"/> 1 できた    <input type="radio"/> 2 概ねできた    <input type="radio"/> 3 あまりできなかった    <input type="radio"/> 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ    <input checked="" type="radio"/> 2 多少の変更があった    <input type="radio"/> 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>会場費は無料の支援センターを利用できたため変更となった。 交通費は、交通費を含む謝礼のかたちをとったので、収支項目が変更となった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>ボランティアと点字の学習を両方する事によって、視覚障害の方への理解がより深まり、積極的に支援することができた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>助成金を得て、会員も増え、ボランティアも継続して行うことができた。</p> <p>今後もより積極的に視覚障害者対象のボランティア活動に取り組んでいきたい。</p> <p>点字も習得が進んできたので、点訳にとりかかれるよう、さらに学習していく。</p> <p>誰でも気軽に入会でき、社会貢献できる会を目指していく。</p>
---------	---